

第4章 公害苦情

1 概 要

平成 23 年度の公害苦情受付件数は 191 件で、前年度から増加しています。種類別では、騒音に関する苦情が 62 件と最も多く、次いで水質汚濁、悪臭、大気汚染、振動の順となっています。（図 4-1、図 4-2）

なお、騒音、振動、大気汚染、悪臭関係の苦情は環境政策課で、水質汚濁や土壌汚染に関する苦情は水保全課で対応しています。

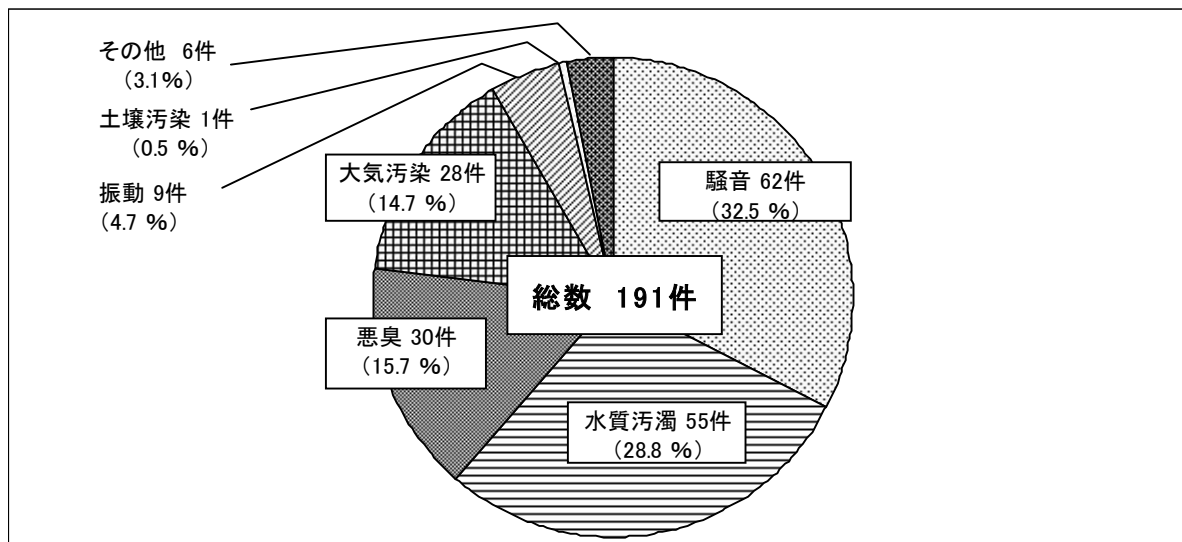


図 4-1 公害苦情の内訳

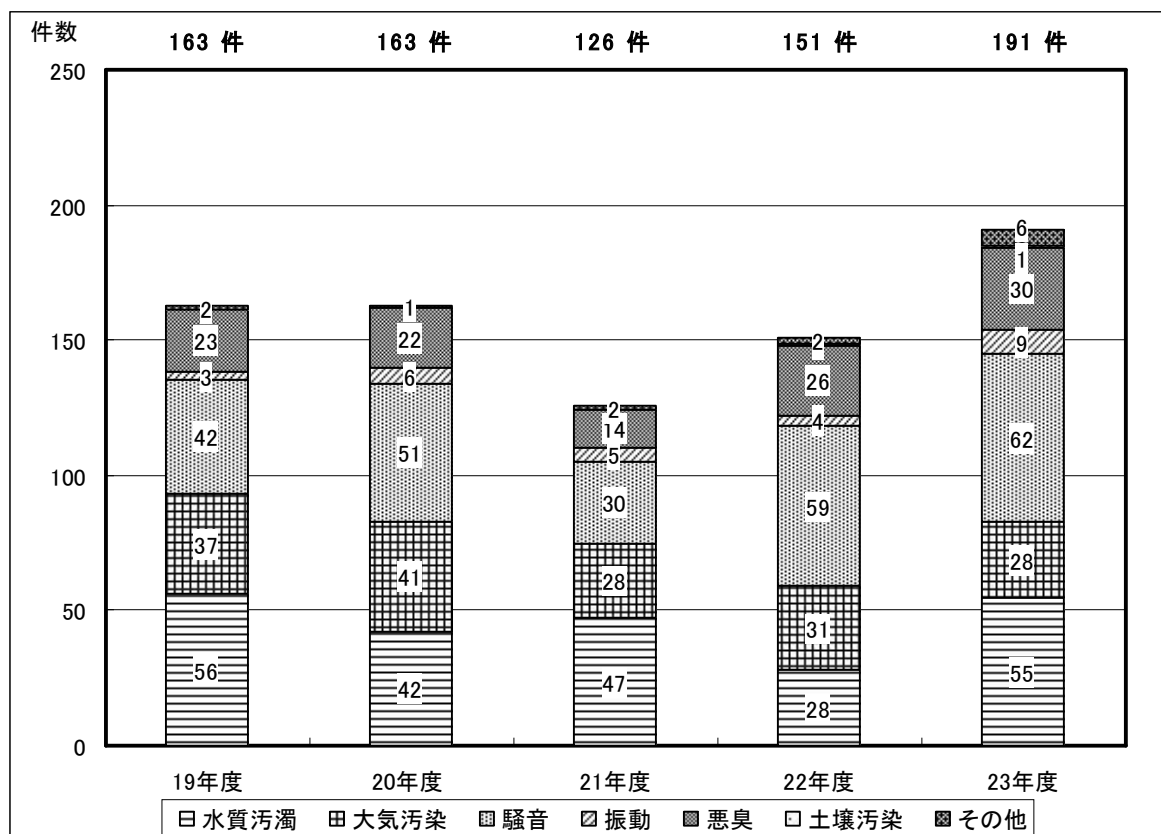


図 4-2 公害苦情件数の推移

(1)大気汚染

大気汚染に関する苦情は28件で、苦情全体に占める割合の約14.7%でした。

発生源の主な原因は、廃棄物の焼却によるものが10件(家庭生活4件・事業所5件・不明1件)と最も多く、次いで建設・解体作業に伴う粉じんによるものが9件、事業所からの排ガス・粉じんによるものが7件でした。廃棄物の野外焼却については、ごみ減量推進課でも対応しています。

(2)騒音

騒音に関する苦情は62件で、苦情全体に占める割合は約32.5%でした。

発生源の主な原因は、建設作業に伴う騒音が28件と最も多く、次いで工場、サービス業等の事業活動に伴う機械・設備の音や作業音が21件、店舗駐車場などからの拡声器騒音が5件、鉄道走行などの移動発生源からの騒音が5件となっています。

(3)振動

振動に関する苦情は9件で、苦情全体に占める割合は約4.7%でした。

発生源の主な原因は、建設作業に伴う振動が6件、工場、サービス業等の事業活動に伴う機械・設備の音や作業音が2件となっています。

(4)悪臭

悪臭に関する苦情は30件で、苦情全体に占める割合の約15.7%でした。

発生源の主な原因は、製造業、飲食店等の事業活動に伴う臭いが8件、畜産・農作業などの農業に伴う臭いが7件、建設工事に伴う悪臭が2件となっています。

2 発生源の業種

公害苦情の発生源となった業種は多い方から建設業、サービス業、製造業、卸売り・小売業・飲食店、運輸・通信業の順になっています。

また、内訳の中で、不明が約24.1%と大きな割合を占めていますが、これは水質汚濁や大気汚染の発生源が特定できないケースが多いためです。(表4-1)

表4-1 公害苦情の発生源業種

業種	公害の種類	水質汚濁	大気汚染	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	その他	合計	
									件数	構成比(%)
農業		0	2	0	0	3	0	0	5	2.6
林業		0	0	1	0	0	0	0	1	0.5
漁業・鉱業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
建設業		1	6	18	3	3	0	0	31	16.2
製造業		6	0	3	1	3	0	0	13	6.8
電気、ガス、熱供給・水道業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
運輸・通信業		1	2	6	0	0	0	0	9	4.7
不動産業		0	0	0	2	0	0	0	2	1.0
卸売り・小売業・飲食店		2	0	6	0	2	0	0	10	5.2
サービス業		3	4	7	0	2	0	0	16	8.4
医療・福祉		0	2	2	0	0	0	0	4	2.1
学習支援・公務		1	1	3	0	0	0	0	5	2.6
家庭生活		3	7	9	2	13	1	3	38	19.9
その他		1	2	6	1	0	0	1	11	5.8
不明		37	2	1	0	4	0	2	46	24.1
合計		55	28	62	9	30	1	6	191	100.0